

学校名 豊島区立さくら小学校

校長名 井出 千晴

学校の教育目標

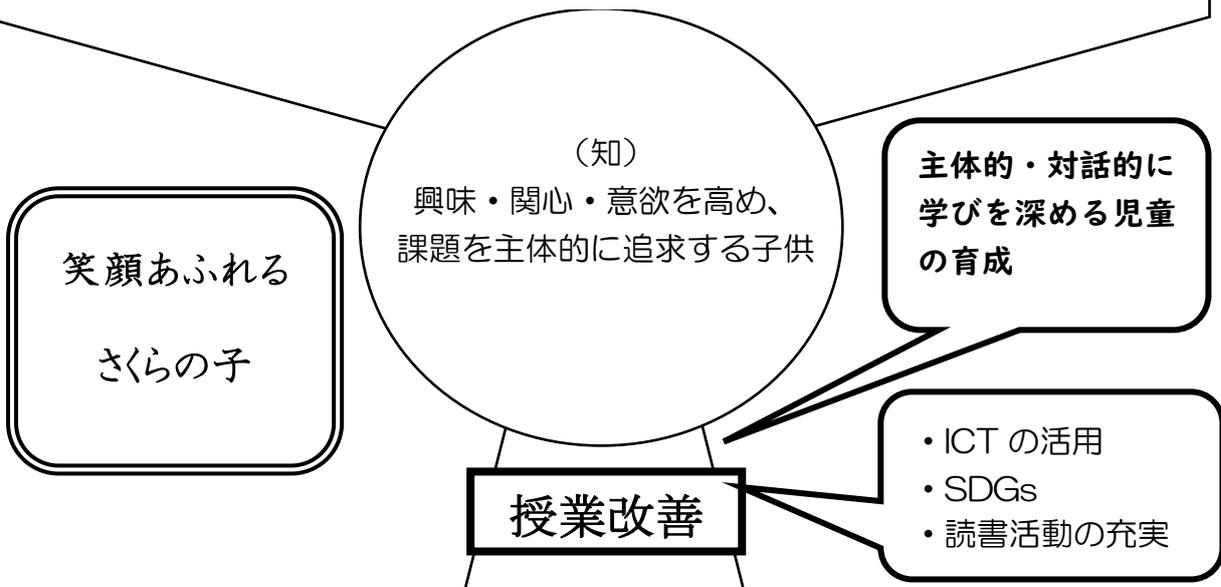
・思いやりのある子 ・考える子 ・やりとげる子 ・元気な子

学力に関する目指す児童像

主体的・対話的に学びを深める児童

授業改善推進プランの全体像

(徳) 相手の気持ちを考え、思いやりのある子供  
(徳) 自信をもってさまざまなことに取り組み、最後までやる子供  
(体) 進んで体を鍛え、心身ともに健康な子供



めあて/課題の設定・・・本時で児童に身に付けさせたい力を明確にした授業  
まとめと振り返りの充実・・・児童が本時で何が身に付いたのかが分かる授業  
教師主導型からの脱却・・・主体的・対話的な活動を重視した児童主体の授業

・各教科での育成したい資質・能力

- ・確かな学力の定着
- ・豊かな個性を伸長する教育
- ・人権教育と豊かな心を育む教育
- ・健やかな体の育成
- ・一人一人を大切にする教育
- ・教育環境の充実

## 令和6年度 授業改善推進プラン（各教科）

## 1 国語科

目指す児童像を基にした国語科での育成したい資質・能力		
<p>言語がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。</p> <p>筋道を立てて考える力や感じたり、想像したりする力を養い、人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができる。</p>		
学年	現在の状況	改善のための取組
スタート カリキュラム	○なかよしタイムでのふれあいゲームを活用して「どうぞよろしく」で名刺交換を行った。	・新しい人間関係の構築のために、自分の名前と好きなものの絵をかいて自己紹介をすることで、伝え合う力を高められるように指導する。
低	○読書を好む傾向がある。 ○物語文に親しんでいる。 ・てにをはの習熟が必要。 ・拗音の習熟が必要。 ・「はじめ」「中」「おわり」の構成で文を書くことにつまずきを感じている児童が多い。	・説明的文章では、「問い」と「答え」の文に気を付けながら、大事なキーワードを抑えながら指導する。 ・視写を多く取り入れる。 ・経験したことを文に表す活動中で、文の構成を意識するように指導する。また、てにをは、拗音を正しく使うように指導する。
中	○自分の考えを自信をもって相手に話すことができる児童が多い。 ・話を聞く際、話し手が知らせたいことを聞き落とさずに聞くことに課題がある。 ・漢字や語彙などの習熟に課題がある。 ・情報と情報のつながりを関係させる語彙が不足している。	・接続語や語彙を意識して、短い文を書く機会を増やす。 ・習った漢字を日常的に使う機会を増やす。 ・読書のよさを伝え、読書への意欲を高めさせる。 ・毎時の振り返りを通して、自分の課題を捉えさせ、次時への意欲を高めさせる。
高	○自分の意見とその理由を明確にして書くことができる。 ・登場人物の心情について描写を基に捉えることが苦手。	・物語などの読み取りでは直接的な表現だけでなく、情景なども合わせて感じ取ることができるよう、表現の工夫に着目させる。

## 2 社会科

目指す児童像を基にした社会科での育成したい資質・能力	
<p>社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を身に付ける。</p> <p>多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の</p>	

国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚をもつことができる。		
学年	現在の状況	改善のための取組
中	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身近な地域について意欲的に学習している。</li> <li>・資料を読み取る経験が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の生活と関連させ、興味をもって学習できるよう具体例や具体物などを示す。</li> <li>・写真資料・動画資料・グラフや表などの資料を用いる際には、児童が興味をもつようなものを精選していく。また、資料の読み取り時には資料内の事実と自分の意見とを区別するようくり返し行わせることで、資料の意図に気付くように指導する。</li> </ul>
高	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本の地形と気候について関連付けて理解している。</li> <li>・資料を読み取りや複数の資料から関連付けて考えることが苦手である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料から読み取れる事実を明確にしていく。また、複数の資料を扱う際には時間的・空間的な共通点や相違点などを確認をしてから考えさせるように指導をする。</li> </ul>

### 3 算数科

目指す児童像を基にした育成したい算数科での資質・能力		
<p>基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を育成する。</p> <p>学習を振り返りよりよく問題解決しようとする態度、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を身に付ける。</p>		
学年	現在の状況	改善のための取組
スタート カリキュラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なかよしタイムでの活動を通して数について取り上げ、数に興味をもたせるようにした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なかよしタイムで「数合わせゲーム」を活用して数に慣れ親しみ、「数の大小」の学習に繋げていく。</li> </ul>
低	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10の合成と分解の定着していない児童がいる。</li> <li>・100以上の数の理解ができない児童がいる。</li> <li>・単位の読み方や量の感覚を身に付けていない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブロック等を操作したり、図や絵に表したりする活動を繰り返し行い具体物→半具体物を活用して定着を図る。タブレットでドリル練習に取り組みさせる。</li> <li>・量の感覚を養うため、児童たちの生活に関連したものを取り上げ、およその見当をつける活動を取り入れる。</li> </ul>
中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数の大小と不等号への理解に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体物を使い視覚的に理解を深められるようにする。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2桁の加法減法の繰り上がり・繰り下がりの計算に課題がある。また、かけ算九九の定着ができていない児童がいる。</li> <li>・文章題の式と答えを導き出す計算に課題がある。</li> <li>・時計や長さの単位の定着が弱い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助数字などを確実に書かせミスが減らさせる。</li> <li>・問題を何度も読んで理解を深めさせる。答えを書く時には一度問題に戻って答えの書き方について考えさせる。</li> <li>・時間に意識を持たせる活動を多く取り入れたり、他教科を関連して長さについての経験を増やしたりする。</li> </ul>
高	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小数×小数の計算に課題がある。</li> <li>・割合についての理解に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアレスミスをなくすよう、計算のルールを徹底する。</li> <li>・比較量、基準量、割合を明確にし、数直線などを活用して考える力を高めるよう指導する。</li> </ul>

#### 4 理科

目指す児童像を基にした理科での育成したい資質・能力		
<p>自然の事物・現象について理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。</p> <p>観察、実験などを行い科学的に解決するための問題解決の力を育成する。</p> <p>自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を身に付ける。</p>		
学年	現在の状況	改善のための取組
中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験・観察自体は意欲的に行うが、実験・観察の目的を理解することに課題がある児童がいる。</li> <li>・実験・観察結果から考察することに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然事象との関わりを意図的に準備することで、その後に行う実験に対して、興味をもちながら行えるようにする。</li> <li>・経験や自然事象との関わりなどから予想する体験を多くさせたり、実験・観察の方法を話し合わせたりすることで実験・観察の目的を考える習慣を付けさせるようにする。</li> <li>・問題解決型の学習の流れを明確にし、記述の仕方や考え方の指導を確実に行うようにする。</li> </ul>
高	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用具を扱う学習に関して課題がある。</li> <li>・実験結果から、他のものに応用して考察することが苦手である。</li> <li>・仮説を立てて、問題を解決するための実験の方法を考察することができない。</li> <li>・事象の性質を応用して日常生活に結びつけることに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験や観察をする際には、1人1実験、または少人数でのグループ実験を徹底し、自分事として実験・観察の計画を立てたり取り組んだりできるよう指導をする。</li> <li>・「結果」と「考察」を区別するよう指導をする。実験・観察結果から考察をする際には、学習問題やそれに対する自分の予想や仮説に立ち戻らせ、考察する目的から外れないよう指導する。</li> <li>・単元の振り返りで、学習した事象の性質と身の回りの生活を関連付けてまとめるよう指導する。</li> </ul>

## 5 生活科

目指す児童像を基にした生活科での育成したい資質・能力		
<p>身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現する力を育成する。</p> <p>学習材に進んで働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を身に付ける。</p> <p>活動や体験の過程において、その良さや関わりについて気付き、必要な習慣や技能を身に付ける。</p>		
学年	現在の状況	改善のための取組
スタート カリキュラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学前の状況が様々で、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」に到達できていない児童がいる。</li> <li>・「わくわくタイム（合科的な生活科）」で学校探検を行い、校舎内や上級生が学習する姿を見て、小学校という場に興味関心をもつことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの園の生活を大切にしつつ、その上に小学校での生活を積み重ねる。</li> <li>・「なかよしタイム（学級づくり）」「わくわくタイム（合科的な生活科）」「ぐんぐんタイム（教科学習の時間）」を無理なく組み合わせ、学校生活を知り少しずつ慣れる。</li> </ul>
低	<ul style="list-style-type: none"> <li>○植物や生き物に興味をもっている。</li> <li>・気付いたことを文章で表現することが苦手な児童がいる。</li> <li>・課題に対して主体的に探究できない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の思いや願いを基に授業を構成する。</li> <li>・授業の導入で、学習教材との出会わせ方を工夫する。</li> <li>・探究することが明確になるようめあてを意識させ、振り返りをさせる。</li> </ul>

## 6 音楽科

目指す児童像を基にした音楽科での育成したい資質・能力		
<p>音楽的な見方・考え方を働かせ、思いや意図をもって、友達と協働しながら音楽活動を楽しむ態度を身に付ける。</p>		
学年	現在の状況	改善のための取組
低	<ul style="list-style-type: none"> <li>○めあてに向かって楽しく身体を動かしたり、歌ったり演奏したりすることができる。</li> <li>・感じたことや気付いたことを言葉に表すことに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感じたことや気付いたことを言葉で表すことができるように、音楽室にカードを掲示する。</li> <li>また、日常的に友達と意見交流を行い、より豊かな表現ができるようにしていく。</li> </ul>
中	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習に見通しをもち、思いや意図をもって演奏したり、歌ったりすることができる。</li> <li>・思いや意図を音に表していく技能に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の見通しがもてるように、ワークシートを題材を通したものにしたり、板書で流れを確認できるようにしたりする。</li> <li>・楽器に触れる時間やどのように歌いたいか考える時間を増やし、児童が実際に試しながら思いにあった音を表していけるようにする。</li> </ul>

高	<ul style="list-style-type: none"> <li>○曲想を感じ取り、思いや意図をもって、表現することができる。</li> <li>○自らの学習を振りかえり、次時に向けての課題をもつことができる。</li> <li>・グループ学習のときに、一人の意見に偏って進んでしまうことがある。</li> <li>・思いや意図をもつことができるが、表現するための技能に差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ学習のときに、ワークシートを活用し、自分の意見をもってから、グループで共有し、表現につなげられるようにする。</li> <li>・リコーダーや鍵盤ハーモニカの基礎的・基本的技能を高めるために児童にあった題材を選ぶ。</li> </ul>
---	---	--

## 7 図画工作科

目指す児童像を基にした図画工作科での育成したい資質・能力		
造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて積極的に考え、創造的に発想や構想をしたり、作品に対する自分の見方や感じ方、知識、技能を深めたりする力を育成する。		
学年	現在の状況	改善のための取組
低	<ul style="list-style-type: none"> <li>○活動に興味・関心をもって意欲的に取り組む児童が多い。</li> <li>○感じたことや思ったことを積極的に発信しようとする児童が多い。</li> <li>・自分の力で発想、構想をしたり、工夫することが苦手な児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入で、見本作品を見たり、ゆっくり考える時間や用具を使って試す時間を多くとる。</li> <li>・友達の作品を見合う時間を多くとる。</li> <li>・今までの授業でやった技法や工夫の方法を思いだし、復習する時間をとる。</li> </ul>
中	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分のつくりたいもののイメージをもち、そのイメージに向かって進んで活動に取り組む児童が多い。</li> <li>・学んだことやできたことを具体的な文章で書き表していく技能に課題がある。</li> <li>・作品を仕上げるまでの時間配分が苦手なため、最後までやりきることができない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題材ごとに、ふりかえりまでのスケジュールを分かりやすく提示するようにする。</li> <li>・ワークシートを活用し、作品完成までのスケジュールを自分でたてる時間を設けるようにする。</li> <li>・友達の作品を見る時間をつくり、お互いの進み具合を確認できるようにする。</li> <li>・ふりかえるポイントを確認する時間をつくり、できたことの言語化を促すようにする。</li> </ul>
高	<ul style="list-style-type: none"> <li>○めあてを意識しながら作品づくりに取り組むことができる。</li> <li>○自身の活動や自身の課題をふりかえり、できたことや課題を文字として言語化することができる。</li> <li>・感じたことや考えたこと、できたことを他者に発表したり共有したりすることが苦手な児童が多い。</li> <li>・つくりたいもののイメージはもてるが、最後まで追求することができな</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の能力に応じて、課題を与えたりアドバイスをしたりしていく。</li> <li>・表現の選択肢を増やすために、今までやってきた表現方法の復習や、個に応じたアプローチを行っていく。</li> <li>・安心して発表ができる雰囲気をつくっていく。班や隣同士など、小さなグループ単位での発表から慣れるようにしていく。</li> </ul>

	い児童がいる。	
--	---------	--

## 8 家庭科

目指す児童像を基にした家庭科での育成したい資質・能力		
生活をよりよくするために工夫しようとする思いをもち、日常生活に必要な家族や家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な知識と技能を身に付ける。 日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、課題を解決する力を育成する。		
学年	現在の状況	改善のための取組
高	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的に制作したり調理したりすることができる。一方、制作についての技能は個人差が大きく個別指導を必要とする児童も見られる。</li> <li>○学習した内容を実生活に活用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童同士での教え合いによって力を高め合うようにする。</li> <li>・苦手な児童ができる制作物にしたり、見通しをもったりして活動できるようにする。</li> </ul>

## 9 体育科

目指す児童像を基にした体育科での育成したい資質・能力		
運動に親しむ中で、各種の運動の特性に応じた運動の行い方を理解し、自己の課題を見付け、その解決に向けて考え、判断し、他者に伝えることができるようにする。		
学年	現在の状況	改善のための取組
低	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体を動かす楽しさを十分に味わって、進んで運動をしている。</li> <li>・自分のことに精一杯で、友達のよい動きを見つけたり、友達に伝えたりすることが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うまくいかない場面を取り上げ、友達と一緒にやってみたり、コツを教え合ったりする場面を設定する。</li> <li>・簡単に記入できる学習カードなど用いて、自分の動きを振り返ったり、友達のよさを見つけたりする。</li> </ul>
中	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体を動かすことに意欲的な児童が多い。</li> <li>・基本的な動き方が身に付いていない児童が多い。</li> <li>・できることをやるだけで、できないことをできるようにしようという意欲が低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の楽しさを感じさせ、活動への意欲を高めさせる。</li> <li>・児童の技能に応じた場を用意したり、段階的に指導をしたりすることで、「少しできた」という意識をもたせるようにする。</li> <li>・振り返りを通して、自分や友達のよさを見付けさせる。</li> </ul>
高	<ul style="list-style-type: none"> <li>○チームで協力し、技能を高めようという意欲が高い。</li> <li>・泳力の差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・泳力別の練習時間を長く取る。個別に指導できるようにする。</li> </ul>

## 10 英語活動・外国語活動・外国語科

目指す児童像を基にした外国科等での育成したい資質・能力		
-----------------------------	--	--

<p>外国語の4技能を通して、情報や考えなどを的確に理解し、情報や考えなどを適切に表現するコミュニケーション力を育成する。</p> <p>外国語を通じて、言語やその背景にある文化を尊重しようとする態度を身に付ける。</p>		
学年	現在の状況	改善のための取組
低	<ul style="list-style-type: none"> <li>○英語でのコミュニケーションを楽しんでいる。</li> <li>・基本的な挨拶に不安があったり、ALTの指示が分からず、何をしたいか戸惑ったりする児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り返し、基本となる挨拶などに触れさせ、英語に慣れ親しむことができるようにする。</li> <li>・ALTの指示に対して、英語を交えながら担任が間に入り、活動に参加できるようにする。</li> </ul>
中	<ul style="list-style-type: none"> <li>○英語での友達とのコミュニケーションの機会を楽しんでいる。</li> <li>・間違えることを恐れ、前向きに学習することができない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話形などを何度も練習させ、自信をもって活動に取り組めるようにする。</li> <li>・アクティビティを通して、英語でコミュニケーションをとることの楽しさを味わえるようにする。</li> </ul>
高	<ul style="list-style-type: none"> <li>○英語でのコミュニケーションを楽しんでいる。</li> <li>・アルファベットの大きい文字と小さい文字、4線の位置の区別がつかない児童がいる。</li> <li>・既習の内容を組み合わせて表現することに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベットの練習を日常的に行う。</li> <li>・既習の内容を確認してから、組み合わせるようにすることで、抵抗感を減らす。</li> </ul>

## 11 特別の教科 道徳

目指す児童像を基にした道徳科での育成したい資質・能力		
<p>よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的、多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を身に付ける。</p>		
学年	現在の状況	改善のための取組
低	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教材に興味をもち、自分の考えを発言したり、ワークシートに自分の考えを書いたりしている。</li> <li>・ねらいとする道徳的価値を、自分事として考えることができていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳的価値に迫れるように、一人一人の感じ方や考え方を深め合う話し合いをする。</li> <li>・道徳的価値について考え、これから自分はどのようにしていくかについて具体的に考えさせる。</li> </ul>
中	<ul style="list-style-type: none"> <li>○登場人物の気持ちに寄り添って考えようとしている。</li> <li>・正しいことは理解しているが、道徳的実践力として生かされておらず、生活に生かされていないことがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人を大切にするために、いろいろな考えがあることを受け入れる。</li> <li>・日常生活と結びつけられるように、授業展開後段の時間をたくさん取り、自分の生活を振り返れるようにする。</li> </ul>
高	<ul style="list-style-type: none"> <li>○登場人物に共感したり、道徳的に正し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活で、道徳の学習と結び付けながら、様々</li> </ul>

	<p>い言動を考えたりすることは得意である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の生活の場面で、似たようなことが起きたときに、正しい言動がとれない。感情が優先されてしまう児童がいる。</li> </ul>	<p>な考え方や、行動の仕方を実践させる。</p>
--	---	---------------------------

## 1.2 総合的な学習の時間

目指す児童像を基にした総合的な学習の時間での育成したい資質・能力		
<p>実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現する力を育成する。</p> <p>対話と振り返りを通して、探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付ける。</p>		
学年	現在の状況	改善のための取組
中	<p>○調べ学習においては意欲をもって取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調べることにとどまり、それを実践したり、発表したりする学習活動には至らない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の学びたい意欲を引き出すような学習活動を展開する。そのために、振り返りの活動を充実させ、次の学習活動を児童が決め、進めていくようにする。</li> <li>・調べたことを発表する場を設け、意欲的に学習できるようにする。</li> </ul>
高	<p>○調べてまとめ、考えを広げることができる。</p> <p>○調べたことを取捨選択し、分かりやすくまとめることが得意である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら次の課題を見付けることが苦手である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の課題を追求する学習になるよう、教材の研究や開発を続ける。</li> <li>・学習の最初の課題提示について、毎年の実践を生かして、より児童が身近にとらえ、主体的に調べたりまとめたり、次の課題が見付けられるように学習計画を立てる。</li> </ul>

## 1.3 特別活動

目指す児童像を基にした特別活動での育成したい資質・能力		
<p>多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付ける。</p> <p>集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定をしたりする力を育成する。</p>		
学年	現在の状況	改善のための取組
低	<p>○当番、係活動を行うことができる。</p> <p>○学校行事に積極的に参加している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会での話し合い活動の経験が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小集団での話し合いの機会を設定する。</li> <li>・子供たちから話題を引き出し、全員が主体的に話し合いに参加できるようにする。</li> </ul>

中	<ul style="list-style-type: none"> <li>○当番、係活動は積極的に行うことができる。</li> <li>○学校行事に積極的に参加している。</li> <li>・学級会での話し合い活動の経験が少ない。</li> <li>・決められたことへの取り組みはできるが、自分たちで取り組みを広げることには至っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員が話し合いに参加できるように、ペアや小グループでの話し合いを取り入れる。</li> <li>・自分たちの活動を振り返る機会を設ける。</li> </ul>
高	<ul style="list-style-type: none"> <li>○当番は積極的に行うことができる。</li> <li>○委員会活動を積極的に行っている。</li> <li>○学校行事に積極的に参加している。</li> <li>○学校のリーダーとして、意欲をもって視野を広げている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的に、話し合う活動を各教科の学習に取り入れて、経験を増やす。</li> <li>・話し合いに参加する際には、話し合いが建設的に進むよう声をかけていく。</li> </ul>

#### 1 4 交流及び共同学習の進捗状況

学年	現在の状況	改善のための取組
低	<ul style="list-style-type: none"> <li>○交流、共同学習を楽しみ、進んで取り組んでいる。</li> <li>・自分の話を伝えたい思いが強く、相手の話を聞くことに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアや小グループでの伝え合いの学習を取り入れ、活動に慣れる。</li> <li>・興味のある話題を取り上げ、相手の話を聞くことでよかったと思える経験を増やす。</li> </ul>
中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いを伝えたり、相手の話を聞いたりするなどのコミュニケーション面に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象児童が興味を持つテーマに沿って、活動を取り入れることで、より意欲的に関われるように工夫する。</li> <li>・ペアで「確認」「同意」を行う活動を繰り返し、コミュニケーション方法が徐々に身に付くようにする。</li> </ul>
高	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に対して、自分の考えをもったり広げたりすることに課題がある。</li> <li>・自分の思いを伝えることに消極的な児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単なところから自分の意見を言う習慣を付ける。</li> </ul>